

学び合いのポイント

■毎回すること

◆説明の仕方

- 一文を短く話す
- 「初めに」、「次に」、「そして」、「つまり」など順に話す
- 式の一つ一つに何を求めたのかを話す
- 図、数直線など、どの部分が何を表しているのかを話す

◆学びを確かめる

- 友だちの説明を自分の言葉で確認し直す
- ポイントとなる解き方について話し合う（その考え方は数字が変わっても使える考え方か）

例① $1\text{ km} - 500\text{ m} = \times$ $1\text{ km} = 1000\text{ m}$ $1000\text{ m} - 500\text{ m} = 500\text{ m}$

→ 計算するときは“単位をそろえる”ことがポイントだね！

② 直角三角形の面積は“長方形の面積を求めて半分に分ければ求められる”ね

× 答えが合っているかのみを確認する

× 説明が長い

× 友だちの説明を自分の言葉で説明できない

■答えがちがうとき

- 何が違うのかを話し合う

例：なぜ～～の部分は、この答えになったの？

- 間違えた人は何を間違えたのかを確認して話す

例：わたしは「 1 km は 100 m 」と考えていたことが間違っていた。「 1 km は 1000 m 」だから、計算し直すと、式は～～～になるから、答えは○○になるね。

■答えは一緒に考え方がちがうとき

- よりよい考え方や、それぞれの考えのよさについて話し合う

【○】 はやい、簡単、わかりやすい、新しい考え

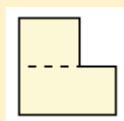
【△】 めんどく、式や図がややこしい

例① 帯分数で計算するのではなく、仮分数に直してからたし算すると簡単にできるね

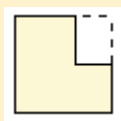
② 98×5 の計算は大変。98 を 100 と考えて $100 \times 5 - 2 \times 5$ で計算するとはやく計算できるね

③ 赤色チーム対青色チーム・・・と書くのは面倒。○赤○ × ○青○ と書く方が楽だね

④ 問「色のついている面積を求めなさい」



分けてたす考え方



全体から引く考え方

そんな考え方もあるんだ！
他にも考え方があるかも！！



- 共通している考え方は何かを話し合う